第二大江学園 H28年度 自己評価について【考察】

人権・サービス委員会

平成28年度実施分の第二大江学園自己評価について、集計結果を受け考察を行い次年度以降の取り組みに繋げることとする。

実施期間:平成28年 12月5日～12月19日

対象:第二大江学園職員(非常勤を含む)51名　配布:51部　回収:51部

○自己評価集計結果に基づき、数値的に低水準な項目と、前年度比較において増減の大きかった項目について、いったんの考察を行う。

【低水準の項目】・・・過半数がA評価ではない項目を指す

3番・・・中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている。
4番・・・事業計画の策定が組織的に行われ、利用者・職員に周知されている。
5番・・・管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
6番・・・業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
8番・・・管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。
9番・・・人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。
10番・・・必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある。
12番・・・職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている。
14番・・・職員が支援等に関する悩みを相談できる体制を整えている。
18番・・・地域の福祉ニーズを把握した上で、事業・活動が行われている。
25番・・・利用者からの意見等に対して具体的に対応している。
47番・・・余暇・レクリエーションは利用者の希望に沿って行われている。
53番・・・施設・設備に関して、利用者や来所者が利用しやすいように配慮されている。

○ まずは評価を行うにあたり、文言の整理が必要だと感じる。 他の取り組みでのアンケート結果でも「上司」とは誰を指すかというようなものがあるが、ここで言う「管理者」等も誰を指すのか整理が必要である。理事長・施設長のみを指すのか、サビ管、児発管、主任等まで指すのか。いずれにしても「管理者」の携わる項目に対しての厳しい評価がある。

中・長期計画、事業計画の組織的な策定方法について、検討が必要である。計画達成に向けた管理者としての意思表明が求められる。3番、4番、5番。

低評価の項目に関しては、職場・職種間でのコミュニケーションが不足することによる結果と考えられるものがあり、改善が求められる。 職員個別の思いを職種間等で共有することで、精神的な負担軽減も期待できる。 8番、9番、10番、14番。

利用者の意思表示を尊重する考え方が定着しつつあることも伺える。 意思の汲み取り方を充実させていく必要があると考えられる。25番、47番。

施設・設備面については、根本的な立地的課題、老朽化に伴う課題、利用者の状況変化の課題に合わせた整備が求められる。 利用者の安全とプライバシーの確保等を合わせた考え方を行っていく必要がある。 大きく予算が伴う部分でもあり、メンテナンス、維持の観点や具体的必要性を提案していく必要がある。合理的配慮が求められる。53番。

【変動が大きかった項目】・・・10%以上の増減のあった項目を指す

【 増 】

2番・・・理念と基本方針が利用者・職員に周知されている。＋15%
11番・・・職員の教育研修に関する基本姿勢が明示されている。＋21%
22番・・・相談・苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。＋11%
23番・・・施設内で虐待事案発生時の対応方法などを具体的に文章化している。＋35%
24番・・・施設内で虐待事案が発生した場合の再発防止策を、具体的に文章化している。＋21%
31番・・・事業所の変更、家庭への生活移行等にあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。＋14%
35番・・・利用者の主体的な活動を尊重している。＋11%
36番・・・利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。＋21%
38番・・・喫食時間に配慮している。＋13%
40番・・・浴室・脱衣場等の環境は適切である。＋25%
43番・・・理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている。＋11%
48番・・・外泊（帰省）は利用者の希望に沿って行われている。＋13%
53番・・・施設・設備に関して、利用者や来所者が利用しやすいように配慮されている。＋15%

【 減 】

7番・・・管理者は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。－17%
16番・・・ボランティア受け入れ等、地域との関わりを大切にしている。－13%

○ 28年度内で人権サービス委員会での取り組み項目について、数値的な改善が見られた点があったことは良かったが、前頁にもあったように依然低水準のままの項目もある。
取り組みとしての継続と更に改善が求められる部分でもあると考えられる。
管理者と利用者・家族とのコミュニケーションが希薄に感じられている側面があるようである。
より現場に寄り添った姿勢が求められていると考えられる。
ボランティアの活用や地域との関わりは社会福祉法人としても重要な課題である。 地域の中で活躍できる役割の獲得が求められている。

●今回の自己評価については、項目をピックアップした形になっていますが、集計結果をみてそれぞれの職員が内容を読み解くことが大切です。 ゆっくりではありますが少しずつ改善している部分等もポジティブに捉えながら、今後も積極的な意思表示を行っていきましょう。

※第二大江学園 各部署掲示をもって「公表」することとします。

平成28年度　第二大江学園　自己評価

【　集計　】

・・・27年度

理念・基本方針		評価		
1	理念と基本方針が明文化されている	A	B	C
		45	4	1
		90%	8%	2%
		46	5	0
		90%	10%	0%
比較・考察				
2	理念と基本方針が利用者・職員に周知されている	A	B	C
		22	26	2
		44%	52%	4%
比較・考察				

事業計画の策定		評価		
3	中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている	A	B	C
		26	17	7
		52%	34%	14%
比較・考察				
4	事業計画の策定が組織的に行われ、利用者・職員に周知されている	A	B	C
		17	25	8
		34%	50%	16%
比較・考察				

管理者の責任とリーダーシップ		評価		
5	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している	A	B	C
		20	26	4
		40%	52%	8%
比較・考察				

		A	B	C	
6	業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している	15	29	6	
		30%	58%	12%	
比較・考察					

		A	B	C	無回答
7	管理者は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている	37	11	1	1
		74%	22%	2%	2%
比較・考察					

		A	B	C	無回答
8	管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	11	27	11	1
		22%	54%	22%	2%
比較・考察					

人材の確保・養成		評価			
		A	B	C	無回答
9	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている	19	26	4	1
		38%	52%	8%	2%
比較・考察					

		A	B	C
10	必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある	13	23	13
		26%	46%	26%
比較・考察				

		A	B	C
11	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	19	28	3
		38%	56%	6%
比較・考察				

		A	B	C	無回答
12	職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている	17	23	9	1
		34%	46%	18%	2%
比較・考察					

		A	B	C
13	実習生の受け入れと育成を、積極的に行っている	34	15	1
		68%	30%	2%
比較・考察				
		A	B	C
14	職員が支援等に関する悩みを相談することのできる体制を整えている	10	23	17
		20%	46%	34%
比較・考察				

安全管理		評価		
		A	B	C
15	災害時・事故・感染症等の緊急時における、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	27	20	3
		54%	40%	6%
比較・考察				

地域との交流と連携		評価		
16	ボランティア受け入れ等、地域との関わりを大切にしている	A	B	C
		36	13	1
		72%	26%	2%
比較・考察				
17	関係機関との連携を適切に行っている	A	B	C
		28	21	1
		56%	42%	2%
比較・考察				
18	地域の福祉ニーズを把握したうえで、事業・活動が行われている	A	B	C
		24	20	6
		48%	40%	12%
比較・考察				

利用者本位の福祉サービス		評価		
19	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている	A	B	C
		33	16	1
		66%	32%	2%
比較・考察				
20	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している	A	B	C
		34	12	4
		68%	24%	8%
比較・考察				
21	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている	A	B	C
		30	19	1
		60%	38%	2%
比較・考察				

		A	B	C	
22	相談・苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している	26	23	1	
		52%	46%	2%	
比較・考察					

		A	B	C	無回答
23	施設内で虐待事案発生時の対応方法などを具体的に文章化している	18	24	7	1
		36%	48%	14%	2%
比較・考察					

		A	B	C	無回答
24	施設内で虐待事案が発生した場合の再発防止策等を、具体的に文章化している	20	20	9	1
		40%	40%	18%	2%
比較・考察					

		A	B	C	
25	利用者からの意見等に対して具体的に対応している	20	23	7	
		40%	46%	14%	
比較・考察					

サービスの質の確保		評価		
		A	B	C
26	サービスの内容について、定期的に評価を行う体制を整備している	38	12	0
		76%	24%	0%
比較・考察				
		A	B	C
27	評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て、実施している	26	22	2
		52%	44%	4%
比較・考察				

		A	B	C	
28	提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている	34	15	1	
		68%	30%	2%	
比較・考察					
		A	B	C	
29	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。 それらについての管理体制が確立している	38	12	0	
		76%	24%	0%	
比較・考察					
サービスの開始・継続		評価			
		A	B	C	
30	利用者の希望するサービスを尊重し、開始にあたって適切に説明し、同意が得られている	41	9	0	
		82%	18%	0%	
比較・考察					
		A	B	C	無回答
31	事業所の変更、家庭への生活移行等にあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている	31	17	1	1
		62%	34%	2%	2%
比較・考察					
サービス実施計画の策定		評価			
		A	B	C	
32	適切なアセスメントに基づき、サービス実施計画が策定されている	39	10	1	
		78%	20%	2%	
比較・考察					
		A	B	C	
33	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている	41	8	1	
		82%	16%	2%	
比較・考察					

利用者の尊重		評価			
34	職員の接し方について、利用者をひとりの個人として尊重する取り組みを行っている	A	B	C	無回答
		31	18	0	1
		62%	36%	0%	2%
比較・考察					
35	利用者の主体的な活動を尊重している	A	B	C	無回答
		23	22	4	1
		46%	44%	8%	2%
比較・考察					
36	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	A	B	C	無回答
		18	29	3	1
		36%	58%	6%	2%
比較・考察					

日常生活支援		評価			
37	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく楽しく食べられるように工夫されている。 またその内容がサービス実施計画に反映されている	A	B	C	無回答
		32	16	1	1
		64%	32%	2%	2%
比較・考察					
38	喫食時間に配慮している	A	B	C	無回答
		29	16	3	2
		58%	32%	6%	4%
比較・考察					
39	入浴は利用者の障害程度や介助方法など個人的な事情に配慮し、希望に沿って行われている	A	B	C	無回答
		29	20	0	1
		58%	40%	0%	2%
比較・考察					

40	浴室・脱衣場等の環境は適切である	A		C	無回答
		20		29	1
		40%		58%	2%
比較・考察					
41	排泄介助は清潔で快適な環境の中で行われている	A		C	無回答
		29		20	1
		58%		40%	2%
比較・考察					
42	利用者の好みや個性を尊重し、清潔で適切な衣類の選択を支援している	A	B	C	無回答
		33	15	1	1
		66%	30%	2%	2%
比較・考察					
43	理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている	A	B	C	無回答
		20	24	5	1
		40%	48%	10%	2%
比較・考察					
44	安眠できるように配慮している	A		C	無回答
		36		13	1
		72%		26%	2%
比較・考察					
45	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	A	B	C	無回答
		41	7	1	1
		82%	14%	2%	2%
比較・考察					

46	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている	A		C	無回答
		44		5	1
		88%		10%	2%
比較・考察					
47	余暇・レクリエーションは利用者の希望に沿って行われている	A	B	C	無回答
		21	24	4	1
		42%	48%	8%	2%
比較・考察					
48	外泊(帰省)は利用者の希望に沿って行われている	A	B	C	無回答
		26	17	6	1
		52%	34%	12%	2%
比較・考察					
49	預り金について、適切な管理体制が作られている	A	B	C	無回答
		47	2	0	1
		94%	4%	0%	2%
比較・考察					
50	新聞・雑誌の購読やテレビ視聴について、利用者の意志や希望に沿って利用できる	A		C	無回答
		45		4	1
		90%		8%	2%
比較・考察					

51	嗜好品(タバコ、酒等)については、健康上の影響等を考慮した上で、利用者の意志や希望が尊重されている	A		C	無回答
		47		2	1
		94%		4%	2%
比較・考察					
52	社会適応訓練等に関しては、利用者の状況に応じた支援を行っている	A	B	C	無回答
		28	19	2	1
		56%	38%	4%	2%
比較・考察					

施設・設備		評価			
53	施設・設備に関して、利用者や来所者が利用しやすいように配慮されている	A	B	C	無回答
		10	32	7	1
		20%	64%	14%	2%
比較・考察					